



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月5日

上場取引所 東 大

上場会社名 乾 汽船 株式会社

コード番号 9113 URL <http://www.inuishop.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 乾 新悟

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長

(氏名) 乾 隆志

TEL 03-3548-3270

四半期報告書提出予定日 平成25年2月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	9,367	△8.9	△1,414	—	△1,314	—	△846	—
24年3月期第3四半期	10,278	△20.3	△481	—	△514	—	△357	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △433百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △952百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△28.79	—
24年3月期第3四半期	△12.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	30,886	21,300	68.6	720.43
24年3月期	30,363	21,718	71.2	735.16

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 21,187百万円 24年3月期 21,620百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,400	△8.3	△1,900	—	△2,200	—	△3,600	—	△122.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	29,429,335 株	24年3月期	29,429,335 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	19,460 株	24年3月期	19,460 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	29,409,875 株	24年3月期3Q	29,409,917 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を完了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、[添付資料] 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) 追加情報	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年12月31日)の世界経済は、米国では住宅市況の上昇など一部に回復の動きがみられるものの力強さに乏しく、欧州では金融安定化の取組みにより金融システム不安が一旦後退致しましたが、財政の先行きに対する根強い不安から景気は弱含んでおります。中国では金融・財政政策による景気刺激が図られていますが、欧米経済の停滞を受けた外需の落ち込みは国内景気を押し下げ、経済成長の速度は鈍化致しました。世界経済全体が停滞する中、我が国の経済は新政権誕生による大胆な財政・金融政策への期待はあるものの、足許では依然として先行き不透明な状態が続いております。

当社が主力とするドライバルクハンディサイズ船の運賃・用船市況は、前連結会計年度の第4四半期中から一旦回復の傾向をみせたものの、昨夏頃から一転下落基調に転じ、当第3四半期会計期間を通じては、リーマンショック後の最安値水準に近い水準に低迷する結果となりました。新造船の竣工が高いペースで続いておりますが、老齢船の解撤処分が進んだ結果、ハンディサイズ船の世界的な船舶数としてはほぼ横ばいとなりました。船腹需給関係の緩和基調が一服しましたが、世界経済の停滞による荷動きの鈍化を受けて市況は低迷致しました。

当第3四半期連結累計期間の平均為替レートは80.13円/米ドル(前年同期は79.09円/米ドル)と円高が継続、また燃料油価格については平均US\$ 679/MT(前年同期はUS\$673/MT)と高止まりし、厳しい外部環境となりました。

その中において当社の業績は、当第3四半期連結会計期間四半期純利益では為替差益および法人税等調整額の影響により僅かながら黒字に転換したものの、前四半期までの赤字をカバーするには至らず当連結累計期間では赤字となりました。

具体的数字といたしましては、当第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年12月31日)の連結売上高は9,367百万円(前年同期比910百万円減少)、営業損失は1,414百万円(前年同期は481百万円の営業損失)、経常損失は1,314百万円(前年同期は514百万円の経常損失)、四半期純損失は846百万円(前年同期は357百万円の四半期純損失)となりました。

なお、6月に当社グループ保有船では最大船型となる37,000DWT型新造船が竣工し、当社船隊が強化されました。本船は5年間の用船契約に投入され安定的な収益を確保することになります。また、7月にはシンガポールに当社100%出資の現地法人(INUI SHIPPING (SINGAPORE) PTE. LTD.)を設立致し、11月に1隻、2013年1月に1隻を当社パナマ子会社より移管いたしました。同社は、海運関連産業の集積が著しいシンガポールにおける地の利を生かした長期貸船事業による安定収益の確保と、保有資産である船舶が当社東京本社に一極集中することによるリスクを分散させることを目的として設置されたものです。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は30,886百万円となり、前連結会計年度末に比べ523百万円の増加となりました。主な要因は現金及び預金の増加2,739百万円、有価証券の減少3,166百万円、長期性預金の新規預入を主な要因とする投資その他の資産の増加1,089百万円等によるものです。

負債は9,585百万円となり、前連結会計年度末に比べ941百万円の増加となりました。これは主に短期借入金の増加185百万円、短期繰延税金負債の減少243百万円、長期借入金の増加1,163百万円等によるものです。

純資産は21,300百万円となり、前連結会計年度末に比べ418百万円減少しました。これは主に利益剰余金の減少846百万円、その他有価証券評価差額金の増加365百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の実績につきましては上述の通り赤字決算となりましたが、今後につきましても運賃・用船市況の急回復は見込めず、第4四半期も事業環境の低迷が予想されております。よって今回の第4四半期の運賃・用船市況につきましては、第3四半期とほぼ同水準が継続することを前提として連結業績を予想しております。また第2四半期においても御報告させていただきました通り、この経営環境への対応として、当社グループは「グループ保有船の代替計画の推進」および「シンガポールにおける海外連結子会社新設」を主とした「事業構造改革」に取り組んでおります。その取り組みの一環として、第4四半期に予定する当社グループ保有船舶の売船に伴う特別利益および特別損失を織り込んでおります。

なお、為替、燃料油価格の予想前提は以下の通りです。

	当連結累計期間実績 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	第4四半期前提 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)
為替レート (円/1米ドル)	¥ 80.13	¥ 85
燃料油価格 (米ドル/MT)	US\$ 679	US\$ 700

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、当該変更による当第3四半期連結累計期間の影響額は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,428,720	6,168,364
海運業未収金	671,094	628,057
有価証券	3,426,118	259,978
貯蔵品	881,389	926,849
繰延及び前払費用	311,648	261,221
未収還付法人税等	258,255	3,693
その他	676,298	627,227
流動資産合計	9,653,525	8,875,392
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	14,531,312	15,169,428
その他（純額）	1,551,089	1,044,780
有形固定資産合計	16,082,402	16,214,209
無形固定資産		
投資その他の資産	25,725	106,100
投資有価証券	3,793,605	4,013,297
長期預金	—	636,216
その他	835,394	1,041,497
貸倒引当金	△27,524	—
投資その他の資産合計	4,601,475	5,691,010
固定資産合計	20,709,603	22,011,320
資産合計	30,363,129	30,886,713
負債の部		
流動負債		
海運業未払金	1,170,898	1,173,671
短期借入金	2,705,027	2,890,739
賞与引当金	25,994	6,011
その他	633,096	286,675
流動負債合計	4,535,016	4,357,097
固定負債		
長期借入金	3,762,637	4,926,237
退職給付引当金	47,630	23,972
特別修繕引当金	256,599	245,361
その他	42,464	33,292
固定負債合計	4,109,333	5,228,864
負債合計	8,644,349	9,585,961

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,351,682	3,351,682
資本剰余金	2,098,314	2,098,314
利益剰余金	15,871,614	15,024,830
自己株式	△6,320	△6,320
株主資本合計	21,315,291	20,468,508
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△564,308	△198,979
繰延ヘッジ損益	10,766	△52,943
為替換算調整勘定	859,186	971,088
その他の包括利益累計額合計	305,645	719,165
新株予約権	97,843	113,078
純資産合計	21,718,780	21,300,752
負債純資産合計	30,363,129	30,886,713

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高		
海運業収益及びその他の営業収益	10,278,186	9,367,939
売上原価		
海運業費用及びその他の営業費用	9,992,768	10,036,369
売上総利益又は売上総損失(△)	285,417	△668,430
一般管理費	766,899	746,330
営業損失(△)	△481,482	△1,414,761
営業外収益		
受取利息	22,350	16,321
受取配当金	56,659	49,112
為替差益	—	85,764
船舶燃料受渡精算金	85,979	91,790
その他	39,764	65,579
営業外収益合計	204,754	308,568
営業外費用		
支払利息	75,762	86,881
為替差損	121,386	—
船舶燃料受渡精算金	21,837	118,837
その他	18,770	2,969
営業外費用合計	237,756	208,689
経常損失(△)	△514,484	△1,314,881
特別利益		
固定資産売却益	—	581,744
その他	—	1,477
特別利益合計	—	583,222
特別損失		
固定資産売却損	—	539,355
投資有価証券評価損	—	220,670
ゴルフ会員権評価損	6,895	875
その他	271	84
特別損失合計	7,167	760,985
税金等調整前四半期純損失(△)	△521,651	△1,492,645
法人税、住民税及び事業税	48,178	3,519
法人税等調整額	△212,308	△649,380
法人税等合計	△164,129	△645,861
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△357,521	△846,783
四半期純損失(△)	△357,521	△846,783

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△357,521	△846,783
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△597,686	365,329
繰延ヘッジ損益	2,855	△63,710
為替換算調整勘定	—	111,901
その他の包括利益合計	△594,830	413,520
四半期包括利益	△952,351	△433,262
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△952,351	△433,262

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 追加情報

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当社は、平成25年1月16日に以下の船舶1隻を売却する契約を締結致しました。

船名	契約締結日	売却予定月	売却価格	平成24年12月末簿価
KEN JYO	平成25年1月16日	平成25年2月～3月	US\$4,500千ドル	87百万円